

# 大田区自立支援協議会 就労支援部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 就労支援部会 (第 10 回)			
(2) 開催日時	平成 30 年 2 月 15 日 (木) 15:00~17:00			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 集会室 2			
(4) 出席した委員、事務局	部会長：鶴田雅英			
	遠藤文夫	古怒田幸子	中野真弓	相澤あゆみ
	平井有希子	山田達也	小林清一	酒井弘美
	高橋由紀	根本真理子	佐藤正浩	富田文子
	区職員			
	事務局 小林善紀 滝本裕弥 村田亮			
欠席者 関香穂利 大内伸一 都丸利奈子 佐々木亜衣 森村明香 富永眞也				
(5) 内容・要旨	<p>●内容</p> <p><b>1 各委員・各ネットワークからの情報提供</b></p> <p>① 運営会議の報告 議題 4「第 3 回本会報告に向けて」にて併せて報告がある。</p> <p>② おおた T S ネットより 2 月 18 日 (日) に東京 T S ネットとの合同会議を実施する予定。足立区や多摩地区などの地域 T S が参加し、それぞれの取り組み等を方向することになっている。</p> <p>③ おおた社会福祉士会「他地域の自立支援協議会の事例から学ぶ」の報告 2 月 14 日 (水) にサポートセンターにて実施。目黒区の自立支援協議会の事務局の方をお呼びし、他地域の取り組み事例をお話しいただいた。社会福祉士会に属している障がい福祉分野以外の方が、どれだけ自立支援協議会というものを理解できたか懸念されるが、他地域の取り組みを知る良い機会となった。</p> <p>④ 大田区支援者向け就労支援施設ガイドブックについて 立教大学と就労支援センターの共同研究の一環で、立教大学の地域連携協働プロジェクトとして作成を進めている。就労希望者からの相談を受ける保健師や福祉事務所、相談支援事業所など支援者向けに大田区の就労支援機関の情報をまとめて冊子とする。当事者の方のアセスメントも行えるようアセスメント表やチェックリストも掲載する予定。</p> <p>⑤ NPO 法人まひろより「映画から考える社会課題」について 1 月 21 日 (日) にプレ上映会を行った。テーマは「ひきこもり」で「幼獣マメシバ」の上映を行った。3 月 18 日 (日) に第 1 回の上映会を実施予定、緘黙の方をテーマとした「こんばんは」を上映する。当日は映画出演者をお呼びしトークショーも行う予定。</p> <p>⑥ NPO 法人まひろより 平成 30 年度に就労移行と就労継続支援 B 型の多機能事業所を九品仏にて開設する予定。</p> <p><b>2 事務局からの情報提供</b></p> <p>① 2 月就労促進担当者会議の報告 2 月 13 日 (火) に実施。学習会は「生活を支える」をテーマに大田区独自事業「自立生活訓練」つばさホーム前の浦より事業概要や就労への支援についてお</p>			

話しいただいた。

② 職場体験実習実行委員会より体験実習報告会の報告

1月25日(木)に実施、職場体験実習参加者20名を含め、合計100名の方が参加した。体験実習参加者より各々の体験やこれまでの経歴について報告された。

③ 障がい者総合サポートセンターでのバレンタインイベントの報告

2月9日(金)にサポートセンターにて実施した。用意された食品についてはほぼ完売していた。

④ サロン・ド・ワークについて

3月3日(土)に、障がい者総合サポートセンターにて実施予定。大田区職場体験実習に参加した方と区内在住の一般就労している主に精神障がいの方々との交流を目的に実施する。

⑤ 平成30年度障害福祉サービス等報酬改定について

2月5日付で厚生労働省のホームページにて、詳細が示された。30年度から実施される就労定着支援事業の報酬単価や就労移行・就労継続支援の報酬改定についても詳細が示された。

### 3 公開セミナーに向けて

当日の役割分担とタイムテーブルの確認を行った。会場の使用時間の関係で、終了時間を当初予定していた時間より早めなければいけなくなった。その為、一部の東京大学御旅屋先生の講演時間および二部のパネルディスカッションの時間をそれぞれ短縮することになる。質疑応答の時間についても設定できなくなったため、質疑についてはアンケートにて回収し、後日事務局より回答することになった。

一部では、若者支援の現状について講演していただき、二部のパネルディスカッションでは、部会委員の所属している機関からの支援事例報告を経てディスカッションを行うことになった。

①あかしろきいろより放課後等デイサービスの利用を終了後(18歳以降)、障がい者手帳を取得することを選ばなかった方への支援についての課題について、②JOBOTAより生活困窮者支援におけるひきこもりの方への支援について、③まひろより、障がい者就労支援を行う中で障がい者手帳を取得することに関して抵抗のある方への支援やそういった方を支援するための支援事業の展開について、それぞれ報告することを確認した。

### 4 第3回本会報告に向けて

第4回運営会議(1/31)の議事録及び部会長からの報告を受けて、第3回本会に向けた流れを確認した。限られた時間の中で、議論の時間多く設定するため、専門部会の報告は8分に短縮し、委員の意見交換の時間を70分設定したこと、および本会報告資料については事前に委員に送付し確認しておくこととなることを確認。

また、意見交換の際には、各部会の報告を受けての感想や、次年度に引き継ぐ課題や協議会の活動など、いくつか項目を決めて意見交換を行うことになったと報告がある。その中で、本会では発言できない専門部会のみ委員の意見を反映するためアンケートを実施することとなり、アンケートへの協力依頼があった。アンケートの締切りは2月28日まで。

## 5 年度のまとめ

各委員より今年度の部会活動の感想や次年度に引き継ぐ課題等について意見交換を行った。

- 「今年度は協議会として何を求められているのか考えられる機会であった」
- 「地域課題の洗い出しという視点で共有できたことは良かった」
- 「専門部会との横のつながりが大切だと感じる」
- 「他の専門部会と地域課題が重なるものがある。合同で検討を進めるといった形もあって良いと思う」
- 「各専門部会を跨る課題について、運営会議をより効果的に活用できると良い」などの意見が出た。

他にも具体的な課題として、

- 「介護保険サービスと障害福祉サービスとの狭間の課題や、障がい者手帳の取得を選ばない方への支援など『グレーゾーン』という視点で検討が出来たことは『切れ目のない支援』を考えていく上で良かった」
- 「障がいを含む生きづらさの背景には、医療とその他の福祉サービスとの繋がりの少なさを感じる。今後は医療との連携も重要な課題になると感じている」
- 「一般企業での就労が困難な方は障がい種別を問わず地域にたくさんいる。障がい福祉サービスを知らない人や繋がっていない方にどう繋がっていくかを検討していく必要がある」
- 「就労継続支援B型など福祉的就労についても、多様な働き方という視点では課題があると感じる。これからの時代にあった就労継続支援などについても情報収集や検討が必要」などの意見も出た。

## 6 その他

第3回本会は3月28日の13時30分～15時45分、障がい者総合サポートセンター5階多目的室にて開催となります。出席可能な方は事務局までご連絡ください。